

2024 新潟県・上海市

ジュニアバドミントン交流事業報告書



期 日 2024年7月30日～8月3日(5日間)

研修先 上海市ボーカン体育館

バドミントン専用コート 30面

上海浦東新区バドミントン協会・ヨネックス(株)・

ヨネックス中国・新潟県小学生バドミントン連盟

助成 新潟県スポーツ振興米山稔財団

2024 新潟県・上海市ジュニアバドミントン交流事業

ヨネックス株式会社の米山勉会長が上海に出張された際、上海浦東新区バドミントン協会副会長、上海販売店ボーカン曾総経理との面会時の話題で、ヨネックスパフォーマンスイノベーションセンターにテニス・バドミントン併用フロアを建設される話から、今後、そこで上海浦東新区と新潟長岡との中日交流会(ジュニア対象)を年1回定期的に、双方の交流と強化を目的に実現できないかとの話になりました。会長から、ヨネックスパフォーマンスイノベーションセンターの運用開始は、今年10月頃のため、長岡での実施することは難しいことから、今年は、新潟選抜選手を上海に派遣し、以下の通り交流する事業といたしました。

記

- 1 交流場所 中国上海市ボーカン体育館
- 2 実施期間 2024年7月30日(火)~8月3日(土) 4泊5日
- 3 派遣選手 新潟県小学生バドミントン連盟の推薦する小学5・6年生

2024 新潟県・上海市ジュニアバドミントン交流事業参加者名簿 選手

No.	氏名	ふりがな	学年	所属チーム名
1	山口 魁士	やまぐち かいじ	6年	佐渡ジュニア
2	阿部 和武	あべ なごむ	6年	柏崎ジュニア
3	中嶋 優羽	なかじま ゆうは	6年	柏崎ジュニア
4	加藤 有翔	かとう ゆうと	6年	阿賀野ジュニア
5	松本 麗羽	まつもと うるは	6年	柏崎ジュニア
6	長谷川 未羽	はせがわ みう	6年	塚山ジュニア
7	佐藤 理子	さとう りこ	6年	栃尾ジュニア
8	三澤 しあ	みさわ しあ	5年	栃尾ジュニア
9	土橋 和花	どばし わか	6年	阿賀野ジュニア
10	細山 姫萌	ほそやま きほ	6年	阿賀野ジュニア

引率

No.	氏名	ふりがな	役職	所属チーム名
1	伊藤 薫	いとう かおる	理事長	阿賀野ジュニア
2	長谷川 聡	はせがわ さとし	強化部	塚山ジュニア
3	高野 美穂	たかの みほ	強化部	小須戸スポ少
4	松本 宏子	まつもと ひろこ	保護者	柏崎ジュニア
5	三本 信篤	みつもと のぶあつ	—	ヨネックス(株)

新潟上海日中交流事業に参加して

柏崎ジュニア 阿部 和武

この五日間は、ぼくにとって初めてのことばかりで刺激的な時間でした。

日本という国の外側にはこんなにも違う世界が広がっているということに、びっくりしました。食事も、言葉も、お金も、違うことばかりだったけれど、同じことが一つだけありました。それは、バトミントンに対する気持ちです。中国の選手とペアを組んで行った四分間のダブルストレニングでは、同じ気持ちで羽を追い、攻撃が決まると同じ気持ちで喜び合いました。遠く離れた場所に、同じようにバトミントンが大好きで、それぞれの目標に向かってがんばっている仲間がいることを知りました。その仲間に負けないように、これからの練習をがんばっていきたいと思います。

今回の交流事業に参加できたことは忘れられない思い出になりました。関わってくださったみなさん、ありがとうございました。

上海遠征で感じたこと

柏崎ジュニア 中嶋 優羽

今回の上海遠征は、自分自身が初めて海外に行くということで、とても心配でした。

1日目、初めて飛行機に乗ってみると意外と安定していて安心し、雲の上が別世界でとても綺麗でした。気圧の変化で耳が喋れないほど痛くなりました。上海に着くと、空港の大きさにビックリし、バスに乗るまで 2 時間くらい歩いた気がします。合宿所に着くと、上海の料理を初めて食べました。日本の料理とは違い、少し辛みがあり美味しかったです。

2日目、午前中は上海コーチのトレーニングをしました。日本とは違い、身体を作るトレーニングが中心でした。器具を使ったトレーニングが多く、日本ではしたことのない練習だったので、普段あんまり鍛えていないところが多かったので、きつかったです。午後は初めてグリーンマットでシャトルを打ちました。グリップが少し効いていて動きやすかったです。

3日目、午前中はワン・イーハンの講習でした。ワン・イーハンと試合することが出来ていい経験が出来ました。技術練習も日本に帰ってからも継続したいと思います。午後は、上海の子たちとの交流戦で全てにおいて格の

違いを見せつけられました。試合後の交流では、上海の子達は仲良くしてくれましたので親しみやすかったです。

4日目、上海観光をしました。上海の街は日本には無いような建物で迫りがありました。ヨネックスのショールームにミニゲーム部屋があって皆で盛り上がりました。リン・ダンのサイン入りの服があって興奮しました(笑)。上海水族館は空港くらい広く、日本では見られない魚が沢山いて見飽きませんでした。夜ご飯では、チャーハンが特に美味しかったです。オレンジと梨のジュースにド・ハマリしました。最後の夜、合宿部屋では罰ゲームありの枕投げをして楽しかったです。最終日、上海から帰国したら5日じゃ足りないくらい楽しくて、あと1か月居たかったです。新潟のメンバーとも仲良くなれて、上海遠征は楽しい日々でした。また機会があれば、行きたいです。

上海遠征に行って感じたこと

佐渡ジュニア 山口魁士

練習初日のフィジカルトレーニングで猫背にならないように指導されました。急がずにゆっくりひざを曲げず下げるように意識しました。専用器具を使っただけのトレーニングは初めてだったので新鮮でした。

ワン・イーハンさんのレッスンでは、僕が特に言われたことは、クロスヘアピンのタッチでシャトルの左横にラケットを置いて素早くタッチすることです。指導されたことを意識してやったら、うまくいきました。世界チャンピオンに教えてもらうなんて人生に一度だと思うのでとても良い経験になりました。

上海観光では日本との違いに注目しながら観光しました。まず、車道が中国ではデコボコでバスがとても揺れました。なので、酔ってしまいました。日本の車道はとても整備されていると思いました。

次はお米の違いです。日本ではモチモチですが、中国はパサパサしていました。僕は日本のお米のほうが口に合いました。

この上海遠征でお世話になった現地のスタッフの方、引率してくれた大人の方、皆さんに感謝します。この経験を生かして全国大会を目指して頑張ります。

謝謝！

上海交流会

阿賀野ジュニア 加藤 有翔

上海交流会で学んだことが四つあります。

一つ目は同じ打ち方をすることです。相手にばれないように打って北信越予選で北信越に行けるようにして、そのためには、ばれないように打つことを意識して練習したいです。

二つ目は、関係です。最初はみんなと仲良くなれるか不安だったけど、最終的に仲良くなれたので、上海交流会がとても楽しくなりました。あと観光の水族館に行った時、沢山の生物をみんなと見られて楽しかったいい経験になりました。

三つ目は強さです。上海の子供たちはとても強かったので、僕も見習ってシングルスをうまくしたいです。

四つ目はヘアピンです。僕はヘアピンが苦手なので教えてもらった事をしたいです。あとプレゼント交換でぼくがあげたプレゼントに興味を持ってくれたのでよかったし、嬉しかったです。

このように苦手なことや上海のこどもたちを見習って強くなって、北信越予選で勝って北信越に行きたいです。そして中国に行ったことは、いい経験になりました。

新潟県・上海市ジュニアバドミントン交流事業

柏崎ジュニア 松本 麗羽

私は上海のトレーニングをしたことと、ワン・イーハンさんとの練習をしたことが思い出に残りました。

上海のトレーニングはいつもの練習と違って筋トレ系をしたからです。上海のトレーニングはいつもやってないことをしたのできつかったです。

ワン・イーハンさんとの練習はいろいろなことを細かく教えてくださったので良い勉強になりました。まさか、元世界チャンピオンの選手と練習できると思っていなかったので良い経験になったし、とてもうれしかったです。勉強になったことは、相手が打ってきたときにどこに打つかばれないようにして打つことです。ラケットの角度をどのくらいにするかなどが勉強になりました。

上海の子たちとの交流戦は、強い子と試合をして相手のいいところを学べました。

観光もとても楽しかったです。特に上海水族館です。日本の水族館とは少しちがった生き物がいておもしろかったです。

今回の上海遠征での経験を生かしてこれからの練習も頑張りたいです。

新潟上海日中交流事業に参加して

塚山ジュニア 長谷川 未羽

上海に行って不便なことや、過ごしにくいときがあって、今の自分の生活が当たり前ではないことが分かりました。

練習の時ワン・イーハン選手が何を打つかが全く分からなくてトップ選手のすごさがわかりました。交流試合では全敗だったので次に遠征に行けたときは一回でも多く勝てるように頑張りたいです。

上海に行って、もちろんもちろん練習面では学ぶことがたくさんあったし、三日目の夜、トレーニングルームで同い年の女の子と仲良くなって、その時英語で話したから、いろいろな国の人とコミュニケーションをとるために英語を話せた方がいいなと思いました。

上海から帰ってきて練習した時に習ったこと見てきたことをしてみたら、うまくできたから上海に行ってよかったです。

今回の遠征学ぶことが多かったし楽しい思いをたくさんすることができたからまた楽しい思いができるように試合で勝ちたいです。

中国遠征の振り返り

栃尾ジュニア 佐藤理子

私は中国遠征に行って成長したことが2つあります。1つ目は中国の人たちとのコミュニケーションが取れたことです。私は、行くときに「大丈夫かな、しっかりコミュニケーション取れるといいな。」と思っていました。でも意外とそれは、1日目2日目は緊張してできなかったです。でも3日目の時には、知っている子は知っていたのでプレゼント交換の時などに「シェイシェイ」などと声を掛けたら、相手の子も「シェイシェイ」と返して、くれてうれしかったです。

2つ目は、中国の礼儀を知ることができたことです。2日目の交流試合の時に終わったら相手と握手そしたら主審と握手して「シェイシェイ」と言っていました。それで「中国は日本よりも少しだけマナー意識が高いな」と思ったので 私も真似してみました。そうすると相手の子が笑ってくれたので、こちらも楽しい気持ちになりました。そういうところは、日本でも続けていきたいです。最後に、今回の遠征の経験をこれからのバドミントンに生かして、自分がさらに成長していけるように頑張りたいです。

中国遠征に参加して。

栃尾ジュニア 三澤 しあ

私は、7月30日から8月3日まで中国の上海に行ってきました。上海の合宿所の女子部屋はきれいで、学習用の机もあって便利でした。

2日目の午前中は中国のコーチからの指導でトレーニングをしているいろんなことをしていい経験になりました。とくにいつもの練習でやらない筋トレや、やったことのないトレーニングをして楽しかったです。午後は日本のコーチからの指導で練習はノックでした。普段、ノックしてもらえない人におしえてもらって良かったです。

3日目の午前中は、元世界チャンピオンからの指導でヘアピンの練習で

肩に力が入っているとされたのでこれからは気を付けてやります。私が中国に行ってわかったのは、みんな力があるということです。なので、家でも筋トレとかを頑張っけてやりたいと思います。

新潟上海日中交流事業に参加して

阿賀野ジュニア 土橋 和花

私は、初めての海外で言語や文化の違いに少し不安がありました。ですが、練習中、通訳の方などがわかりやすく説明してくれて、不安が和らいでいきました。そして、上海の選手と一緒にトレーニングをして、もっと“機敏に動く”という課題も見つけられました。また、元世界チャンピオンのワン・イーハン選手がサーブレシーブの一球目をどこに出すかわからなくすることや、内側・外側で打つバックヘアピンのやり方などを教えてくれました。自分の課題をしっかりと練習して克服し、上海で学んだことをこれからの試合や練習で生かしていきたいです。

引率の方々、現地のスタッフの方々が買い物の会計の時、値段がわからなかったたら、日本語に言い直して値段を言ってくれたり貴重品の管理をしてくれたり、安心安全で五日間過ごせました。

海外に行き交流する機会は、滅多にないのでいい経験になりました。上海で学んだことを無駄にせず、これからもバドミントンを続けていきたいです。

上海遠征の思い出

阿賀野ジュニア 細山 姫萌

一日目に、たくさんの道具を使い、筋トレをしました。重いボールを床に投げつけたり、座ってボールを持ちあげたり、足を上げながら左右に動かす事、箱の上を跳ぶ事などしました。午後は上海の人と一緒に日本の線鬼や馬跳びをして交流を深めとても楽しかったです。

二日目の練習では元世界チャンピオンのワン・イーハン選手から「ホームの位置を変えずにクリアー・カット・スマッシュを打つことが大切です。」と教えてもらいました。次にヘアピンを打つ時は相手にプッシュが打てないヘア

2024 新潟県上海市ジュニアバドミントン交流事業

新潟県小学生バドミントン連盟 理事長 伊藤 薫

今年3月20日、新潟県バドミントン協会総会の席で、新潟県スポーツ振興米山稔財団の三本事務局長から、新潟県のジュニアバドミントン選手を夏休み、中国上海市に派遣しないかとの話をいただいた。急な話ではあったが、ジュニア選手にとって大きな経験になると思い、二つ返事で「前向きに検討しましょう」という話になった。

ただ、夏休み中学生は、北信越大会や全中・JOC県予選等があり、中体連と話し合い、今回は、小学生のみを派遣選手とすることで調整した。

選手選考の結果、男子4人、女子6人の選手と引率として、私、強化部から塚山ジュニアの長谷川聡さん、小須戸スポーツ少年団の高野美穂さん、柏崎ジュニアの松本宏子さんを新潟県小学生バドミントン連盟強化部と相談し決定した。

6月に入ってから、パスポート申請・新潟総領事館への入国ビザの申請、通貨交換等、各々で行わなければならない、ドタバタしながら出発の日を迎えた。

7月30日、14:10発の予定が1時間半遅れて出発。機内は満席。約3時間のフライトで上海に到着。入国手続きにも時間を要し、ゲートを通過した時には、すでに日が暮れていた。暑かった。専用バスで移動。30分余りで到着した交流会場の上海市ポーカン体育館は、倉庫を改造したコートマット30面が敷かれたバドミントン専用コート。コート間は40センチ位しかなく狭いが、コートマット30面には圧倒された。この体育館を20台余りのエアコンで冷房している民間の施設である。中国では卓球よりバドミントンの方が人気スポーツと聞いた。

7月31日午前、ポーカン体育館のコーチによる器具を使ったトレーニング。新潟県の選手は、器具を使ったトレーニングをしているものはおらず、結構つらい時間だったようである。午後からは、塚山ジュニアの長谷川聡コーチによる線鬼やノックなどの日本式練習方法を一緒に学んだ。日本と中国、言葉の壁はあるものの両国の選手は、しだいに打ち解けていった。

8月1日午前、2011年世界選手権チャンピオンのワン・イーハン選手によるカットとヘアピンの講習会。世界チャンピオンからの直接レッスンは、選手にとって大きな刺激になった。午後からは、シングルス・ダブルスに分かれての交流試合を12試合行った。中国選手の気合の入ったショットと50名あまりの応援団による「ジャーヨ！」の応援に押されたせいもあるが、上海12-0新潟という結果であった。交流戦終了後は、プレゼント交換。上海からは、カードケースをいただいた。新潟からの

ヨネックスマフラータオルは気に入ってもらえたかな？

8月2日、一日、上海市内観光。暑いので予定を変更。まず、今年できたばかりの上海ヨネックスショールームを見学。ショールームは、上海市の中心部にあり、バドミントン・テニス・ゴルフ・スノボ用品の最新作がズラリと並び、バドミントンとテニスのミニ体験コーナーもあった。

次は、観光名所、豫園をショートカットで見て、上海徳興レストランで飲茶のランチ。次から次と出てくる料理に舌鼓。子供たちは、合宿所の食事に食べ飽きた時だったので、大興奮して、おいしくいただきました。暑さ対策で、上海街歩きをキャンセルし、上海水族館の見学。日本の水族館とは一味違った水族館は選手に大好評。お土産のお菓子やぬいぐるみなど買い、バドミントンだけでなく、ショッピングも楽しんだ。夕方、茗溪創作料理レストランで打ち上げが行われた。新潟県の選手・コーチ陣とポーカン体育館の曾会長、専属コーチ、ヨネックス中国の芝原本部長、滞在中ずっと世話になった藤巻さん松浦さんとともに和やかに懇談できた、豪華な上海料理と中国式乾杯に少し戸惑いながらも、楽しく上海での合宿のフィナーレを飾った。

8月3日午前6:30。専用バスで、上海空港へ。朝食も用意してくれて、ありがたかった。あっという間の5日間。選手、引率者にとってかけがえのない5日間となった。13:30予定通りに新潟空港に到着。選手は、5日間の海外研修を終え、出迎えた家族の皆さんに、笑顔を見せていた。

今回の研修の機会を与えてくださった、ヨネックス株式会社の米山勉会長をはじめ、資金面・人員面で、新潟県スポーツ振興米山稔財団、ヨネックス中国から大きな支援を受けて実施できたことに、心からお礼申し上げます。また、日本側の引率スタッフも忙しい中、子供たちのために時間を割いていただき、感謝です。

この事業にかかわった関係者の皆様、心から感謝申しあげます。
本当にありがとうございました。

出発前、緊張した面持ち。



器具を使ってトレーニング

ワン・イーハンからの直接指導！





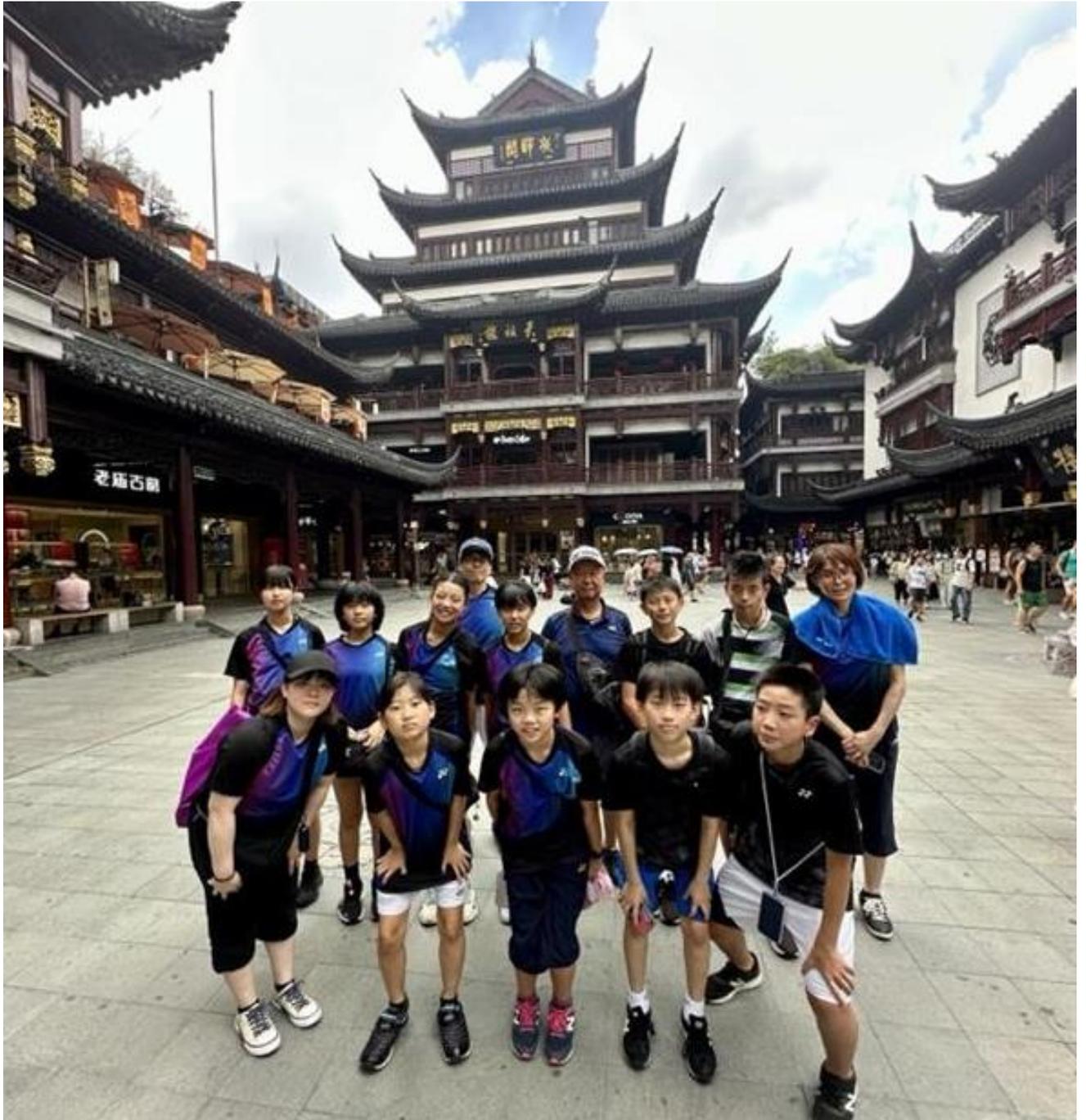
元世界チャンピオンと模範試合



同年代。体格的には、劣っていない。



もっと、寄って、寄って！



豫園でハイ！チーズ！